

# 第5回「G空間×ICT北陸まちづくりトライアルコンクール」 ～グランプリは「トラクターで北陸の雪を救う」～

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、北陸情報通信協議会（会長 久和 進（北陸経済連合会会長））との共催により、平成30年12月8日（土）、金沢工業大学において、第5回「G空間×ICT北陸まちづくりトライアルコンクール」の最終審査会を開催しました。

このコンクールでは、北陸3県の大学、短期大学、高等専門学校などの学生を対象に、G空間情報（地理空間情報）とICT（情報通信技術）により自分たちの暮らしや社会を便利にするアイデアを平成30年8月3日（金）から同年10月1日（月）までの間、募集しました。



プレゼンテーションの様子

最終審査会では、応募があった21件の提案の中から第1次審査で選ばれた優秀な5提案を学生のプレゼンテーションを経て、「G空間×ICTグランプリ」、「北陸総合通信局長賞」、「シビックプライド賞」及び「奨励賞」2件を決定しました。

また、株式会社富士通研究所 デジタル共創プロジェクト地域創生グループマネージャーの烏谷彰氏から「観光まちづくりに向けたデジタル共創の取り組み」と題して、地域の観光に関する組織や事業者と共に、Discover TOYAMAなど観光による地域活性化に向けたサービスを実現した取り組みについて講演しました。

北陸総合通信局では、今回表彰されたアイデアが社会実装されることを期待して、広報などを通じて支援していきます。



発表者及び審査員の方々

## 【決定した各賞】

- ◆G空間×ICTグランプリ：トラクターで北陸の雪を救う 仁愛大学 安彦ゼミ 除雪推進プロジェクト
- ◆北陸総合通信局長賞：「スノースマイル」一雪がなくて本当に良かったー 富山県立大学 石坂研究室
- ◆シビックプライド賞：新！電動シニアカート ～電動シニアカートとICTで「市民にやさしいまちづくり」～  
仁愛大学 安彦ゼミ 北陸まちづくり研究会
- ◆奨励賞（株式会社アイ・オー・データ機器）：ちょっとシェア～だれでも・いつでも・どこへでも～ 金沢工業大学 Smart City Project
- ◆奨励賞（株式会社PFU）：移動を観光に変えるアプリケーション「WALK」 金沢工業大学 塩浜 健さん 宮嶋 凌平さん

※詳細は平成30年12月10日の報道資料参照 <http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2018/pre181210.html>

お問い合わせ先 情報通信部情報通信振興室 076-233-4430